



ねらいを定めて、
それっ！（ペタンク）

6月定例会

P2~3 **新しい議員紹介**

P4~7 **中田新体制予算審査ほか**

P8~15 **一般質問 村政に** 

P16~17 **村民インタビュー**
「**ヴィレステ楽座**」のみなさん

津村議会

あいつとめます！



副議長 河中博子

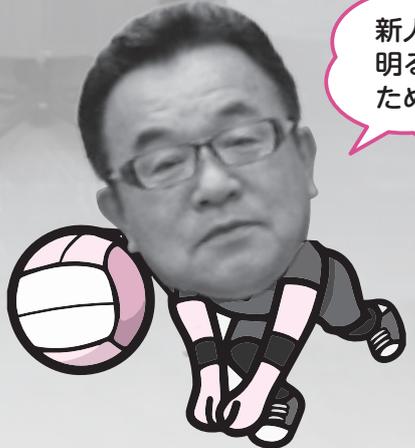
暮らしよい村へ
みなさんとともに。

みなさんの
安心・安全が
守られるように！



橋井満義

みなさんといっしょに
汗をかきましょう。



長谷川康弘

新人ですが、
明るい村づくりの
ため頑張ります。



加藤 修

“暮らし・福祉を一番に”
住民目線で
発言提案します。



三島尋子

総務経済常任委員会

- 委員 長 橋井 満義
- 副委員 長 前田 昇
- 委 員 三島 尋子
- 長谷川康弘
- 井藤 稔

総務課、住民課（税・戸籍関係）、建設産業課の所轄事務についての調査

議会運営委員会

- 委員 長 三島 尋子
- 副委員 長 橋井 満義
- 委 員 松田 悦郎
- 河中 博子
- 前田 昇

議会の運営、会議規則、条例等の調査及び議長への諮問に対する答申

新生 日吉

4年間この10人で



松田悦郎

高齢者パワーを全開し、みなさまに役立つ活動を頑張ります。

議会の改革を少しでも感じていただけるよう頑張ります。



議長 井藤 稔

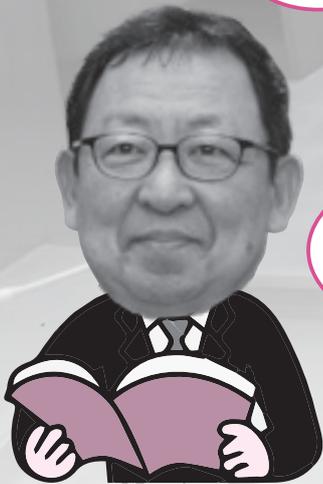
みんな元気で明るい笑顔があふれる村に！



松本二三子

小さいけど輝く、小さいからこそ温かい村づくり！

ひえづ大好き！みなさんと一緒に元気な村へ。



前田 昇



山路 有

広報広聴常任委員会

委員長	前田 昇
副委員長	松本二三子
委員	長谷川康弘
	井藤 稔
	河中 博子

広報「議会ひえづ」の発行及び広聴に関する事

教育民生常任委員会

委員長	松田 悦郎
副委員長	松本二三子
委員	山路 有
	加藤 修
	河中 博子

教育委員会、住民課（税・戸籍関係を除く）、福祉保健課の所轄事務を調査

予算を徹底審査!



意欲的な農業者に対し必要な農業用機械・施設の導入を支援する

担い手確保・経営強化支援事業

1,050万円



関連性のある総合戦略と総合計画の基礎調査をあわせて行う（アンケート）

総合戦略策定事業

360万円

6月定例会

6月定例会は、6月10日に開会し21日に閉会しました。中田新村長によるはじめての施政方針がなされ、補正予算・条例の一部改正・教育長の任命の議案5件、うなばら福祉事業団決算などの報告5件、陳情6件を議決しました。

議案 第23号

日吉津村廃棄物の処理及び清掃に関する 条例の一部を改正する条例

一般廃棄物処理(し尿汲取り)手数料

18リットル **219円** → **223円** 《今年10月から》

問 前回の値上げにはいろいろな理由があったが、今回は消費税増税だけか。

答 消費税増税が理由。8%から10%に上がる分(4円)を値上げする。

問 村内に利用者は何軒あるのか。

答 7軒おられる。

問 村独自で補助はできないか。

答 他町と合わせている。

【討論】 **反対** 三島 尋子 議員

この条例は、し尿汲み取り手数料の消費税増税2%分を引き上げるものである。現在、下水道使用料には減額特例条例が適用されている。住民にとって不公平な施策であり、し尿汲み取り手数料も減額すべきである。



原案可決

中田新体制肉付け



小学生は沖縄で
中学生はオーストラリアで

人材育成交流事業

800万円



パンフレット・PR動画作成、リップちゃん・ムラッキーのLINEスタンプ作成

地域魅力発信事業

230万円

問

平成27年度から36年度までの10年間、指定管理を受けると言われたが、来年3月31日までではないのか。

答

一応今年が指定管理の最後だが、村では来年以降5年間の指定管理の決定を、10月くらいに議会へ提案したいという話であり、西部広域とも協議していきたい。

問

10年間継続してということは耳にしたことがないが、いつの時点でできた筋書きか。

答

改修等含めて、10年間でいくら使用料が必要かということから、年間2,500万円の定額が決定され、とりあえず10年間維持していくという方針が出たということ。

うなばら
福祉事業団
決算報告へ
質問集中！

問

毎年、村からの補助金として村民の税金で事業に投資している。努力は必要だが、仮に、売却となった場合、土地などの権利関係はどう考えているのか。

答

ただちに売却ということはないが、もともと村の土地であり、譲渡されてはいるが用途を満たさない場合、返していただくとの約束ができていと聞いている。

問

定額2,500万円を下げるなどの取り組みなど、発想の転換はできないか。

答

老人福祉施設として整備されたものを、事業団が10年間指定管理を受け、しっかりと運営していきたい。

維持管理費等を考え、広域議会で決められた定額を下げることもむずかしい。

今後はいろいろなアイデアを取り入れ、利用していただけるよう進めたい。

【総務経済常任委員会委員長報告】

陳情第10号

「最低賃金の改善と中小企業支援の充実を求める意見書」の採択を求める陳情書

提出者：鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁

委員長報告

趣旨採択

反対 三島 尋子 議員

地域からの好循環実現には、購買力を上げること。最低賃金を引き上げ地域間格差を是正し、国の中小企業支援拡充が必要。

(陳情原案に)

賛成 三島**反対** 長谷川、山路、橋井、松本、河中、前田、松田、加藤

本会議結果

不採択

陳情第11号

核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情

提出者：ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会 代表 後藤智恵子

委員長報告

採 択

賛成 三島 尋子 議員

日本は、唯一の被爆国として、世界をリードしていく立場である。本議会も「核兵器廃絶・平和の村」宣言を決議している。

(陳情原案に)

賛成 長谷川、三島、河中、前田**反対** 山路、橋井、松本、松田、加藤

本会議結果

不採択

陳情第12号

汚染土および放射性物質等の持ち込み拒否に関する条例の制定の陳情
提出者：(鳥取市) 岸田まどか

委員長報告

継続審査

討論なし

本会議結果

継続審査

※今回の委員会審査で結論に至らず、継続審査としました。

次の陳情4件については、議会運営委員会において協議の結果、「国民的な議題ではあるものの、①その権限が直接日吉津村にないこと、②県外者からの陳情であること」などの理由から、(村の議案としては扱わず)各議員への資料配布にとどめました。

- 陳情第4号 「辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情」(同意同文の陳情が2者より提出)
- 陳情第6号 「日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書」
- 陳情第9号 「日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書」
- 陳情第13号 「米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情」

陳情6件を審査しました

日吉津村議会にも、村内外の個人・団体から「陳情」や「請願」が提出されます。このたびは、10件の陳情が提出されました。

陳情の扱いについては、その関連性を考慮して、原則「総務経済常任委員会」か「教育民生常任委員会」に付託して、それぞれの委員会で、議論・検討の後、その陳情の「採択」「趣旨採択」「不採択」などが決定されます。その結果を本会議にて報告し、それに対し「反対」や「賛成」の討論を行います。そして、本会議において採決し、日吉津村議会の最終の判断とします。（採択となった場合、その陳情の求めに応じ、国の政府機関等へ意見書を提出します。）

【教育民生常任委員会委員長報告】

<p>陳情第5号</p>	<p>ハンセン病元患者家族に対する救済を求める決議の陳情 提出者：ハンセン病元患者家族に対する政府の謝罪と賠償を求める会 池原正雄</p>
<p>委員長報告</p> <p>趣旨採択</p>	<p>反対 三島 尋子 議員 国の隔離政策で、家族への偏見が深刻なものに広がった。国は被害を直視し、謝罪・賠償を行うべきだ。</p> <p>賛成 松本二三子 議員 伝染病とされ、偏見や差別を受けた家族の被害は認めるべきだが、賠償となると難しい。</p> <p>(陳情原案に) 賛成 三島、河中、前田</p> <p>反対 長谷川、山路、橋井、松本、松田、加藤</p> <p>本会議結果</p> <p>不採択</p>
<p>陳情第7号</p>	<p>地方財政の充実・強化を求める陳情書 提出者：自治労鳥取県本部（西村裕生）及び日吉津村職員労働組合（齊古直樹）</p> <p>委員長報告</p> <p>採 択</p> <p>討論なし</p> <p>本会議結果</p> <p>全会一致 採 択</p>
<p>陳情第8号</p>	<p>教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の陳情書 提出者：鳥取県教職員組合西部支部（西田周郎）・高校教職員組合西部支部（深田卓也）</p> <p>委員長報告</p> <p>採 択</p> <p>討論なし</p> <p>本会議結果</p> <p>全会一致 採 択</p>

一般質問



7人の議員が質問しました。

村

政

に

喝

6月11日(火)

議員	ページ	質問事項
加藤 修	9	1. 村道2号線の道路拡幅は 2. 下水道料金の見直しは 3. ひえづのうたの普及は
松田 悦郎	10	1. 農業の6次産業化の考えは 2. 副村長を置く考えは
松本二三子	11	1. 減額されたままの村長の給与は 2. 10年経過した自治基本条例の推進は 3. 手話に対する村の対応は
山路 有	12	1. 国道沿い企業進出の現状は 2. 行政の組織強化を 3. 村道の拡幅問題の展望は
前田 昇	13	1. 村制130周年を村づくりの起爆剤に 2. 新しい保育所づくりに村民参画の徹底を 3. 村の施策づくりに図書館の利用を

6月12日(水)

河中 博子	14	1. 若者が参画したくなる村政へ 2. もう一つの文化的にぎわい広場を
三島 尋子	15	1. 家計を応援する施策を 2. 福祉保健課の改革を



加藤 修 議員

村道2号線の道路拡幅は

村長 関係各所と調整していく



▲村道2号線の拡幅整備を

Q 村道2号線交差点の信号機設置に向けて、条件整備を急ぐべきでは。

A 村長

信号機設置については、昨年12月の議会でも再度請願を受け、米子警察署へ要望を行った。しかし、交差点形状

などに問題があるため信号機の設置は困難との回答をいただいている。

請願を受けて十分に認識はしているの

ので、この解決のために、今後も引き続き交差点改良や道路改良などについて検討し、関係各所との調整をしていく。

下水道料金の見直しは

村長 今のところ見直す時期ではないと考える

Q

下水道料金の見直し、とくに

人数割料金設定の改善をすべきと思うが。

A

村長

過去における

さまざまな議論を経て、令和2年度から地方公営企業法の適用などをふまえると、今のところ見直す時期ではないと考えている。

下水道料金の見直し

は3年に一度であり、次回は令和2年度になるので、下水道審議会のテーブルに乗せ検討を行う。



▲ひえづのうたの普及を

ひえづのうたの普及は
教育長 知名度も徐々にあがってきている

Q

ひえづのうたのDVDを全戸

配布する意味と、有効利用の方法は。

A

教育長

DVDを全戸配布する目的としては①各家庭で歌ったり、踊ったり、体操したり

するきっかけ。

②村内外の知り合いや親せき等の方々との、村の良さの共有。

③多くの村民に親しんでもらい、村の特徴や良さを認識し、村民としてのほこりを一層自覚することにつながる。

今後はダンスチームによるPR活動、プロモーションビデオのリアルなどを行い、さらに広めたい。



松田悦郎 議員

農業の6次産業化の考えは

村長 国や県と連携し支援を考えたい

Q 一次産業から三次産業までを一体化した6次産業化を政府は所得増対策として推奨している。村も農業経営の多角化で、地域の活性化に

つなげる成長産業にすべきである。

地方創生の人口問題を含め、6次産業化をどのように考えているのか伺う。

A 村長

6次産業化は既存の一次、二次、三次産業の融合により新たな商品やサービスを提供し、消費者のニーズに応じた生産供給が行われている。

また、所得向上、雇用創出、地域の活性化につながるという言葉、国なども成長産業として推進をしている。

村内の「伯耆のきのこ」では加工設備を整備し、生産や加工も行う商品を販売されている。

村の地方創生総合戦略でも、起業の一環として6次産業支援を位置づけている。

村としては国や県とも連携を図りながら、しっかりと支援することを考えたい。

副村長を置く考えは

村長 もう少し時間をいただきたい

Q 副村長を置かない理由として

条例もあるし、多額の人員費もある。

副村長を置くことは、村長を補佐し、職員の手助けにもなる。しかし、大事なものは村民に安心感をもってもらうのが一番の理由である。

業務の停滞を避ける

地方自治法

第六十一条

都道府県に副知事を、市町村に副市町村長を置く。

ただし、条例で置かないことができる。

副知事及び副市町村長の定数は、条例で定める。

※副市町村長は、市町村において市町村長を補佐し、その補助機関たる職員の担任する事務を監督する、特別職の地方公務員である。

ため早急に条例改正を行い、副村長を置くべきと思うが。

村長

私も就任して約一カ月半が経過したが、もう少し時間をいただきよく考えたい。

A 益田村長であった平成14年度までは助役が配置され、平成15年4月に就任された石村長在任中は助役を置かれず、平成19年4月1日からは副村長を置かない条例が制定された。

また、業務の停滞はあつてはならないと認識しており、役場全体の組織強化も協議していく中で、副村長の必要性も含め検討させてほしい。



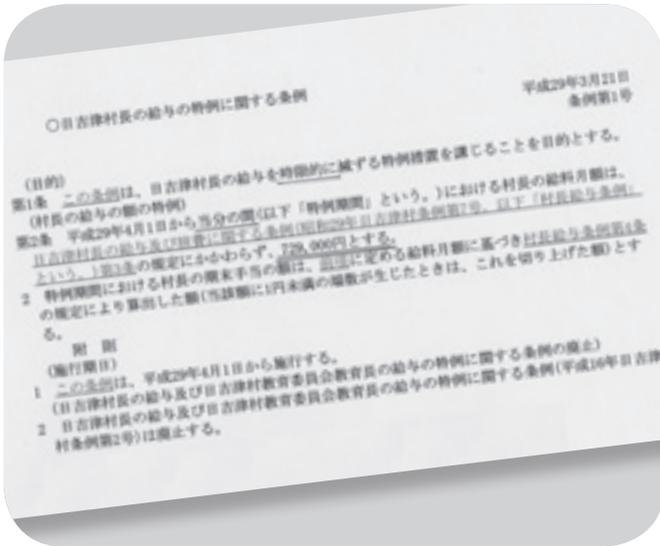
▲漬物や干物の販売なども6次産業の一つです



松本二三子 議員

減額されたままの村長の給与は

村長 時間をかけて検討したい



▲日吉津村長の給与の特例に関する条例

Q

減額されたままの村長の給与について伺う。

① 村長の給与の特例に関する条例の経過は。
② 条例では「時限的」と「当分の間」という文言が使われているが、その違いは。
③ 新村長となり、減額をやめて元に戻すべきではないかという、村民の声をどう考えるか。

A

村長

① 平成15年に住民投票を行い、単独が決定した。それにもない、16年4月から20%カット、27年7月に10%カットで、現在に至っている。
② 期間を定めるということから時限的という言葉を使ったが、いつまでということとは決めていないので、当分の間としている。

③ 今も単独村制である点など、検討する必要はあると思うが、村長になってまだ一カ月半なので時間をいただきたい。

A

村長

① なかったと思っている。
② よい意見をいただいたので、実践したい。
③ いろいろ検討した上で今まで同様、推進していきたい。

Q

① 条例改正についての審議はこれまでであったか。

村長

検討し
周知していく

10年経過した自治基本条例の推進は

① 県には手話言語条例が制定されているが、村としてはどうか。
② 子ども達には、以前のような手話との関わりがあるのか。
③ ボランティアフェスでも活躍されている手話サークルへの対応は。

Q

① 県には手話言語条例が制定されているが、村としてはどうか。

手話に対する村の対応は
村長 いろいろな場面で対応をしている

A

村長

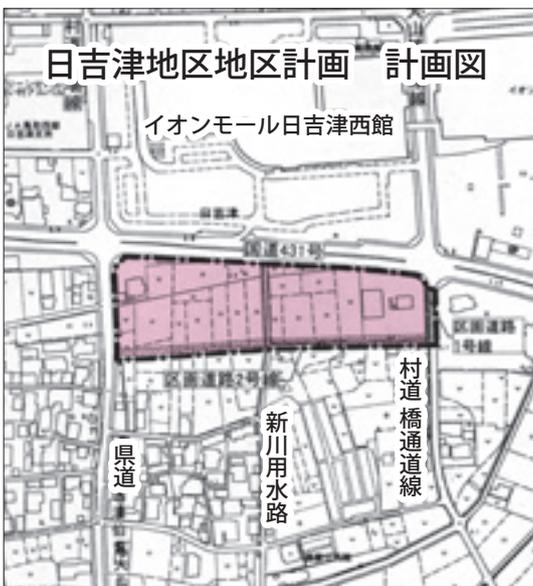
① 村の福祉計画で対応している。防災無線の文字表示など、コミュニケーション支援もしている。
手話言語条例については、考えていない。
② 「わくわく体験ボランティア」は「わくわく体験」として継続していて、手話の経験をする機会もある。
③ 講師謝礼は、社協で助成している。



▲ボランティアフェスでの手話体験



山路 有議員



▲変更後の日吉津地区地区計画 計画図
* 36.7ha→1.9haに変更

国道沿い企業進出の現状は

村長 オリックス(株)の協議を

進めている

Q 国道431号沿線区域に2社の進出が予定されている。村の発展につながるものと期待していたが、いまだに手つかずの状況である。

村民の不安を払拭する必要があるのである。

A 村長 国道431号沿線区域の約36・7haを地区計画区域とし、その内、オリックス(株)の開発予定地(樽屋北)約1・9haについて、県との協議を進めている。

手続きに長期間を要しているが、早期実現に向け努めたい。

行政の組織強化を

村長 慎重に検討したい

Q 中田新村長の手腕に期待する。そのような中、組織強化を求める声も多い。次の3点について見解を求めたい。

- ① 施策推進のための副村長の設置
- ② 災害に強い村づくりのための防災監の設置
- ③ 新村長誕生を機に、村長報酬は正規の額へ

A 村長 ①副村長の設置については、少し時間をいただき検討したい。

②西部7町村で防災監を設置している自治体が4町ある。組織強化の協議にあわせて検討したい。

③村長報酬については、これまでの経過や財政状況もふまえ、慎重に検討したい。

村道の拡幅問題の展望は

村長 関係者との調整、検討したい

Q 村内において、交通事故が多発する状況にある。この



▲事故多発！信号機設置は村民の願い

ような背景もあり、信号機設置、道路拡幅などの改善を求める声が増しに広がっている。

次の2箇所の見解を求めたい。

- ① 信号機設置を目的とした村道2号線一部拡幅について
- ② 宮川北線(県道から橋通線の間)の拡幅について

年次的な計画を示し、段階的に改良をしては。

A 村長 ①交差点形状などに問題があり、信号機設置は困難である。今後も道路改良について、関係者と調整を図りたい。

②樽屋自治会等からも平成26年度から要望されている。用地買収も含め、引き続き検討したい。



前田 昇 議員

村制130周年を村づくりの起爆剤に

村長 今後の事業において検討する



▲130周年をやさしくアピール
(キャンドルナイト6月8日)

Q

120周年をお祝いした平成21年以降にも多くのみなさんが村に転入されている。新元号の今年、中田新村政をスタートするにあたり、村民のみなさんの関心を高める絶好の機会である。工夫を凝らして村制130周年に取り組みべきでは。

A

村長

特別な予算、取り組みは計画してい

なかつた。日吉津の歴史を振り返り、村に愛着を感じるきつかけとなるよう、今後予定されている各種事業において、検討したい。

Q

新しい保育所の

づくりは、今後の村政の大きな柱。保育・子育ての状況は大

新しい保育所づくりに
村民参画の徹底を
福祉保健課長 村民の
参画をえて進める

A

福祉保健課長

大きく変化している。子育て支援センター、児童館などの複合的な施設を検討されているが、まずは計画づくりのプロセスを、村民に具体的に示し、大胆に村民参画を図って進めるべきでは。

Q

県庁内には県立図書館分室が

設置され、県の施策を進めるために、図書館の「レファレンスサービス」が利用されている。村においても職員が利用できる図書室(資料室)を設置してはどうか。

村の施策づくりに
図書館の利用を
総務課長 職員研修に
取り組みたい

A

総務課長

これまで機会がなかつたので、積極的に職員研修を考えた。また、図書室の設置は、庁内のスペースの問題もあるが、(ご提案の行政資料等を整理配置する)資料室であれば、検討する。

*レファレンスサービス
||今日の図書館に期待される重要な機能の一つ。利用者調査や研究のために、参考となる所蔵資料や、各地の図書館等から取り寄せた資料を的確に提供するサービス。



▲図書館利用が村づくりをすすめる



河中博子 議員

若者が参画したくなる村政へ

村長 いかに参加していただくか

知恵を絞る

Q 生き生きとした政治をするためには、村民と一緒に参画する、そういう村づくりが望まれると思うが。

A 村長 若者だけでなく幅広い世代の参画を

Q 得ていきたい。そのためにいかに多くのみなさんに参画していただくか、知恵を絞りながら村づくりを進めていく。

A 村長 ビジョンは村民のみなさんと一緒になって描いていくもの。とくに今年度は、地方創生総合戦略の見直し、来年度は総合計画の見直しを控えている。村民のみなさんのご意見を十分お聞きしながら、5年先10年先のビジョンを描いていきたい。

Q もう一つの文化的にぎわい広場を現時点では現実的ではない

いくかを検討し、返していくことは必要だと考える。

A 村長 現時点では現実的ではない

Q これからの日吉津村が、住みやすく、若者の定住、農業の担い手確保、6次産業が発展し、文化の香り高い村になるためには、今以上に確固たる地盤を固める必要がある。

A 村長 いただいた意見は、現状をふまえて、どういった対応をして

Q 村民の意見を聞くことは基本だが、それに対して返答が大事だと思うが。

A 村長

それらの課題解決に向け、新しいにぎわい広場を設立するビジョンを作ってはどうか。

Q それとは目的が違って、村営、準村営にこだわるのは、村民の資産・資金がなるべく村外に出て行かないようにするため、地域経済の発展にもつながる。あわせて文化的要素を盛り込むことで、人づくりや村づくりを目指してはどうか。

A 村長 販売とか経営活動は、民間の力でにぎわっていくことがベストではないか。

Q これからの日吉津村が、住みやすく、若者の定住、農業の担い手確保、6次産業が発展し、文化の香り高い村になるためには、今以上に確固たる地盤を固める必要がある。

A 村長 現時点では現実的ではないと考える。文化的にぎわいではヴィレステひえづの活用が現実的ではないか。村民のみなさんの力でさらににぎわいの拠点となると考えるので、積極的に活用していただきたい。

Q それらの課題解決に向け、新しいにぎわい広場を設立するビジョンを作ってはどうか。

A 村長

販売とか経営活動は、民間の力でにぎわっていくことがベストではないか。



▲今吉スポーツフェスティバル



▲村営・準村営のにぎわい広場を



三島尋子 議員

家計を応援する施策を

村長 消費税は、他町状況もふまえ慎重に決定



▲消費税は上げないで

Q

消費税10%は、家計の負担が大きくなる。村独自の施策で、公共料金への増税はしないことを求める。

A

村長

前回と同様に改定は必要になると考える。他町の状況等もふまえ、慎重に決定する。

Q

西部の他町では、前増税と

Q

なったさいに、増税分だけ基本料金を引き下げ、負担増にならないよう対応したと聞く。このような考えは。

A

村長

そういうケースもあると認識している。それもふまえてということですよ。

Q

国民健康保険加入者の多くは、年金生活者や非正規労働者など、所得の低い

A

村長

人が加入している。全国知事会等は、国保には「構造的問題」があるとして、国へ公費負担増を要望している。国保が、協会けんぽと比べて高くなる要因は、均等割（人数割）世帯割（平等割）があること。人数が多いほど税は増え、子どもが生まれると1人2万5000円増える。均等割の引き下げを。

A

国保税算定の

しくみとして、各世帯の被保険者合計所得額に応じて、応益割額の均等割には、7割・5割・2割の軽減がある。子どもには所得がないため、その世帯はこの軽減にかかる可能性が高い。費用対効果も含めて、慎重に考える必要がある。国において財源確保されれば、村も検討したいと考えている。

Q

「地域包括支援センターと総合相談窓口をヴィレステに」と、住民から意見が寄せられた。移動設置の考えは。

また、福祉保健課を二つの課にする考えはないか。

福祉保健課の改革を

村長 窓口一本化で円滑な支援ができる



▲住民が気兼ねなく相談できるように

A

村長

現在、ワンストップサービス提供を推進している。保健衛生、子育て支援、医療・介護保険など、地域包括支援センター、福祉事務所も兼務で担当。相談窓口を一本化することで情報を共有し、円滑な支援ができる。役場庁舎内に設置しておく。小規模自治体を生かし、一つの課で行う。

タビュ

ヴィレステ楽座についてご紹介ください

庄司さん 歴史の授業で習った、町に自由に市を立てることを許して、人が集まり交流が始まったという「楽市・楽座」にヒントを得て、「ヴィレステ楽座」と名付けた。

ヴィレステが完成した年の年末に集まって、

翌年（3年前）の6月22日に一回目を開催した。

松田さん 新しい施設のヴィレステの出会いストリートがいい場所だったので、気楽にみんなが集まらたらと思った。ホールは飲食禁止だけど、ここはいちごカフェもあって、やる方も見られる方も気楽に集まる場になればいい、これまで6回開催した。

座のみなさん～

て、音楽演奏あり、落語あり…その他トを開催されている、その中心的なメン



庄司和史さん

田辺昌宏さん

田辺さん 毎回新しい方に、こちらから声をかけて参加いただいている。入場料は要らず、誰でも楽しめるよう工夫している。個人的には、欧米の街の通りの



山根さん いろいろな特技、一芸を持っている人に出番をつくりたい。前は小学生も参加してくれたので、家族の皆さんにもたくさん来ていただいた。

山根さん ストリートでは、時々展示会などが行われているが、何も展示されていない期間に「動く展示物」を披露できれば。

庄司さん いちごのカフェがあるので、この出会いストリートが「地産地消」の場になればと思う。

ますます、夢が広がりますね

ように、いろいろなパフォーマンスに投げ銭を入れるような、そんな風になれば楽しいと思っている。

山根さん 何でもやるうとするのを、受け止めてもらえる。自治体として小さいから、お互い親しみが生まれやすいのかな。

日吉津村の良いところはどんな点でしょう

るな人に出てもらいたい。長くやっていきたい。ただし、やり方は変わることもあると思う。

山根さん 何か一芸を持つ人、出てみたいという人がいれば、出番を作るので、ぜひ申し出てほしい。出る人も見る人も楽しめるよう、無理せず続けていきたい。

こんな（ユニークな）自分でも（保護者代表）教育委員とか、村の要職になれる…。

田辺さん 米子市から転入してきたばかりの自分でも、役場では職員さんがあいさつしてくれたし、今吉自治会



松田さん ずっと住んでいる者にとっても、日吉津の気風はウエルカムだと感じる。

庄司さん 交通の便もいいし、子育て環境も…なんでも完結して暮らしやすいのでは。



でも、当時の自治会長さんをはじめ、やさしく迎えてもらった。

村民イン

～ヴィレステ楽

ヴィレステひえづの出会いストリートにユニークなパフォーマンスありのイベントの方にお集まりいただきました。

松田さん 最近の子どもたちは、私たちのころより、日吉津のことを好きなんだと感じている。中学生になっても、小学校の芝生グラウンドやヴィレステに來ている子も多い。



▲ユニークなパフォーマンス

庄司さん 以前に広島ラジオの取材を受けた時、「日吉津で遊ぶところはどこ？」と聞かれて、「イオンがある。」と答えたところ、「イオンはどこにでも



田辺さん 居酒屋があればいいなあ。それから、自治会の境界線が分からない。

では、日吉津村に足りない点、直したいところは何でしょう



松田和博さん

山根直樹さん



海浜運動公園は、もっと利用できませんか

ある。アピールできるところは？」と言われて答えられなかった。うなばら荘に観光農園があったり、アユを焼いて食べれたりできないだろうか。

山根さん 利用料が結構高い。バンガローは人数が増えると千円ずつ上がるので、かなりの額になる。人数に関係なく一棟あたりいくら、となると利用しやすい。規模は大きくなくとも、アスレチックのような遊具があってもいいかな。

村政や議会への要望はありますか

田辺さん 以前から縁

貴重なご意見ありがとうございました。これからも、多くの村民の方が参加できる楽しいイベントを企画してください。

があつたお二人が議員となられたので、今回は特に議会中継を見ましたが、あらためて議員の皆さんも勉強することがいろいろあつて大変だと感じました。村の広報や議会だよりは、県政だよりなどより身近なので興味があるのですが、率直に言つて、行政のお知らせだけが並んでいる印象で、面白みに欠ける。**庄司さん** たとえば、タモリの「笑つていいとも」のように、村民が次の村民をリレー的に紹介していくような紙面を作つてはどうか。

議会のうごき

全国町村議会 正副議長研修会

とき 5月28・29日
ところ 東京国際フォーラム・
自治会館

全国から、約1800人の
正副議長が参集しました。

初日には、山梨学院大学の
江藤俊昭教授などから、議員
報酬等のあり方についての研
究報告があり、二日目は、県
別研修で、総務省の出口和宏
交付税課長から地方財政の現
状と課題について講話があり
ました。

いずれも重要なテーマであ
り、大変参考になりました。



岡山県笠岡市議会 会派議員視察(来村)

とき 7月4日(木)
ところ 日吉津村役場会議室

笠岡市議会同一会派のお二
人の議員の視察を受けました。

ひえづ版ネウボラについて
の視察で、村議会から議長と
教育民生常任副委員長、執行
部から福祉保健課長以下4名
の担当者が対応しました。

施策推進についての意見交
換や子育て関連施設の実査な
どを通じ、互いに、今後を活
かせる機会になったと考えま
す。

西部町村正副議長。 局長研修

とき 7月22日(月)
ところ 日吉津村役場会議室

本村を会場に、県西部の町
村正副議長・局長が一堂に会
する研修会が開催されました。
前半、日ごろの議会運営な
どから判明した諸問題につい
て意見交換を行いました。

後半、国登録有形文化財に
指定されたばかりの蚊屋島神
社とヴィレステひえづを視察
していただきました。

今後、広域的視点で一層の
活用ができればと考えます。



編 集 後 記



議会ひえづは、今回
が第159号です。
年4回の発行で、昭
和、平成、令和と、約
40年間続けられてきた
ことになります。
その間の先輩議員の
熱意と村民の皆様のご
協力に深く敬意を表し
ます。

先の選挙を経て、広
報委員会も新しい構成
となりました。情報伝
達手段が急激に進展す
る中、引き続き、議会
紙の役割を果たしてい
きたいと考えます。

これからも、忌憚の
ないご意見をいただい
ければ幸いです。

— 井藤 記 —

表紙

村民球技大会
(ペタンクの部)

【議会広報広聴常任委員会】

前田 昇・松本 三三子

長谷川康弘・井藤 稔

河中 博子